

日本サウンドスケープ協会 2015年度 理事会 議事録

日時：2016年5月28日（土）13：30～15：30
場所：青山学院大学総合研究所ビル（14号館）14510教室

開会に先立ち理事長より、当初の開催予定地だった熊本大学の現状および開催地の変更を余儀なくされた経緯について説明があった。また、本日の理事会の開催要領について説明を行った。続いて事務局長が、本日の出席者数（10名）ならびに委任状の数（11通）を確認し、本理事会の成立を報告した。

【議案】

第1号議案 2015年度事業報告および決算

2015年度事業報告案 …… [資料1]

事務局長より、資料1に基づいて2015年度事業報告が以下のとおり行われた。

1. 2015年度会員状況
2. 総会・シンポジウムの開催
3. 例会の開催
4. 研究発表会の開催
5. 研究会活動への助成等
6. 広報活動ならびに関連事業として
7. 記録整備
8. 20周年記念事業
9. 協会誌の発行
10. 国内外の団体との連携・交流
11. その他

なお、1の「2015年度会員状況」に関して、箕浦理事より転籍（学生から一般への）の表記について修正意見があり、これを承認し文言の訂正をした。また、4の「研究発表会の開催」については、箕浦理事より秋季研究発表会の内容に関して企画報告が3件あったこと補足する意見があり、これを補足した。そして5の「研究会活動への助成等」においては誤字の修正を行った。

2015年度決算案 …… [資料2]

鷲野理事（活動推進委員）より、2015年度決算案について、収入と支出それぞれについての説明があった。特に各事業運営委員会の支出（事業費）や管理費（事務局運営やウェブサーバーなど）の詳細について説明があった。

この報告を受けて沖山監事より、決算額から予算額を引くとすべての項目がマイナスであることは特異であるとの指摘を受けた。また川崎理事より、この結果は予定された事業が行われなかったからなのか、それとも節約をしていたからなのかという質問があった。その質問については、続く監査意見書にも関係することなので、先ずその報告をしたい旨の発言が理事長からあった。

2015年度監査報告 …… [資料3]

監事を代表して入江監事が意見書を朗読した。しかしながら、朗読された書類は修正前のものであつ

たので、本会に提示する前に指摘された修正点を修正した上でそれ（新しいバージョンのもの）を承認した。またこの監査報告を受けて、小菅理事、佐藤理事よりWGとプロジェクトのあり方、今後の位置付けについての意見があった。また年度中の各事業委員会の内容についての質疑応答があったのち、本会議後、修正された正式書類に改めて捺印していただくことになった。また佐藤理事より決算業務と書類作成がより明確になり、協会の運営状況についての把握が以前より容易になったということは評価に値すること、また予算について考慮しながら活動について検討していることは大きな進展であるとの意見があった。

塩川理事より、事業活動報告9の中で第16巻を発行したとあるが、参考資料3には編集委員会からの報告には「第16巻の編集を進めたものの同号を発行できない」とあり、内容に齟齬があることについて指摘があった。それについて（協会誌編集委員長の鈴木常務理事が会場に到着していなかったため）鷺野理事が、書類作成をした日付と第16巻を2015年度として発行すること決定した日付の違いやその経緯について説明を行った上で、現在既に第16号は発行されていることを報告した。その後、協会誌の配信方法（パスワードの廃止）についてはmlやSNSなどを通して広く会員に周知を図ることとした。

以上、第1号議案は総会にかけると承認された。

第2号議案 2016年度事業計画および予算

2016年度活動方針ならびに事業計画案 …… [資料4]

事務局長より、資料4に基づいて2016年度活動方針ならびに事業計画案が説明された。

1. 2016年度活動方針
2. 総会・シンポジウムの開催
 - ・総会（主担当：活動推進委員会）
 - ・シンポジウム（主担当：企画運営委員会）
3. 例会の開催（主担当：企画運営委員会）
4. 研究発表会の開催（主担当：学術事業運営委員会）
5. 広報活動ならびに関連事業（主担当：活動推進委員会）
6. 研究会活動への助成と活動の公開（主担当：研究会）
7. 記録整備（主担当：コンテンツ事業運営委員会/活動推進委員会/各事業委員会）
8. 20周年展コンテンツ書籍化事業（主担当：20周年展コンテンツ社会化プロジェクト（仮称））
9. 協会誌の発行（主担当：協会誌編集委員会/学術事業運営委員会）
10. 国内外の団体との連携・交流
11. サウンドスケープ研究の推進（主担当：学術事業運営委員会）
12. その他

兼古理事より3. 例会の開催について以下のような訂正がなされた。

- ・”高尾山虫聞之会”ではなく、”高尾虫聞之会”である。
- ・現在この表題は仮称であるため、終わりに（仮）とする。
- ・実行委員に柳沢英輔さんと伊藤精英さんの2人を加える。

また理事長より8に関して、この名称のプロジェクトの立ち上げを総会に提案することも含めた事業計画案である旨について説明がなされた。箕浦理事より、書類にある委員会名称（学術事業運営委員会）を正式なものに修正する意見が出された。また11. サウンドスケープ研究の推進については、この間、協会のプロジェクトとして共同研究を行うという提案をしていたという説明がなされ、関連する文言を「サウンドスケープ研究の推進をおこなう共同研究プロジェクトのために会議費等の補助をおこなう」と修正する旨の提案がありそれを了承された。

佐藤理事より、6. 研究会活動への助成と活動の公開の中に、新たに「協会内におけるプロジェクト

について引き続き検討する」という文言の加筆の提案があり了承された。

また先ほどからの議論を受けて鷺野理事より「ワーキンググループには3万円程度、プロジェクトには5万円程度を助成し、サウンドスケープに関する活動を推進する。なお、助成するグループの採択や実際の助成額は、予算を勘案しながら常務理事会でおこなう」という修正の提案があり了承された。

2016年度予算案 ・ ・ ・ ・ ・ [資料5]

鷺野理事より、資料5に基づいて2016年度予算案の説明があった。その後、支出の部、事業費の科目のうち「学術運営」とされていたところを「学術事業」とし、また「研究会：WG」への助成の備考にある「プロジェクト」は「震災プロジェクト」と変更する意見があり、それらを各事業運営委員会に提示された予算額を担当する常務理事に確認し、それを了解した。

アーカイブなどの記録についてはどこが管理するのかを早急に決定するべきであるとの発議が川崎理事、佐藤理事からなされ、事業の一環として過去の情報をどのように保管し、どのように取り扱い集約するのか？どこで一括するか？などというような問題があることを確認した。これに関して鷺野理事より、コンテンツ事業の主な役割を明記するために、科目および備考欄には以前からの”調査・編集”という文言は踏襲せず、”記録・保存・発信”とすることが提案された。

これらの修正箇所を変更したうえで、第2号議案 2016年度事業計画および予算は総会にかけることが承認された。

続いて、常務理事会の案件である総会の議長選出については、常務理事による推薦によって佐藤理事が選出された。

以上